

業績ハイライト

2018年中間期の決算は、有価証券利息や国債等債券売却益の減少などにより減収となりましたが、資金調達費用や経費等が減少したため、経常利益は4年ぶりの増益となりました。

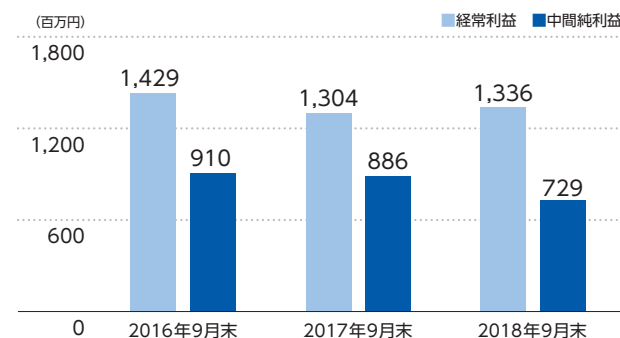
また、預金および貸出金残高が鳥取県内を中心に順調に増加し、中間期として過去最高を更新するなど、業容は順調に推移しました。

自己資本比率は9.48%と国内基準の4%を大きく上回っているほか、不良債権比率も1.18%と、引き続き安全性・健全性ともに高い水準を維持しています。

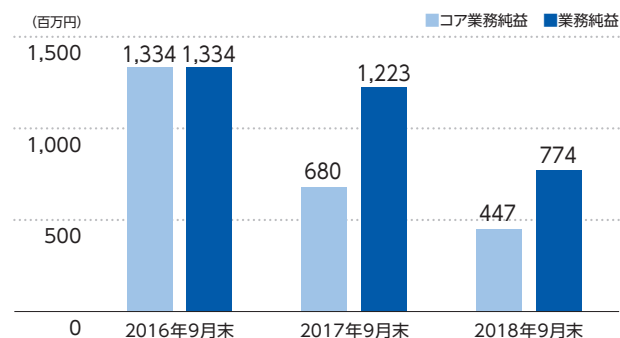
用語解説 コア業務純益

コア業務純益とは、一般企業の営業利益に相当する業務純益から、国債等債券関係損益や一般貸倒引当金繰入額など一時的な変動要因を控除したもので、金融機関の本来業務から得られる利益となります。

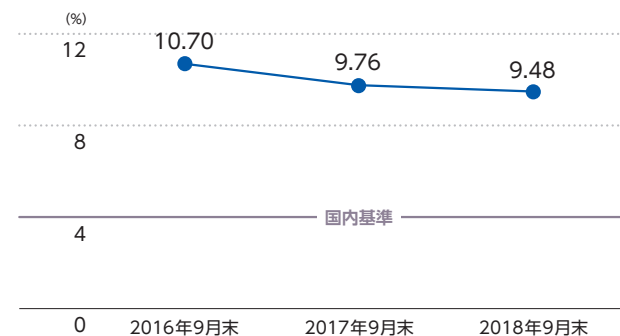
経常利益／中間純利益 (単体)



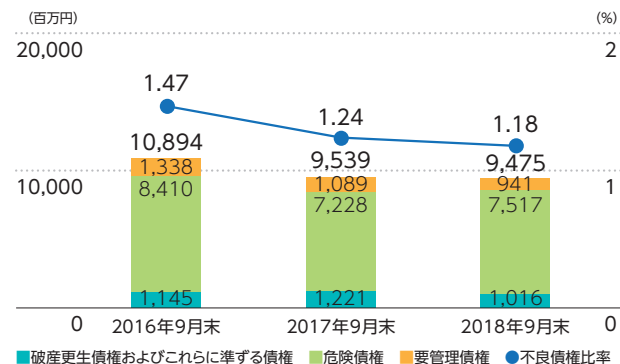
コア業務純益／業務純益



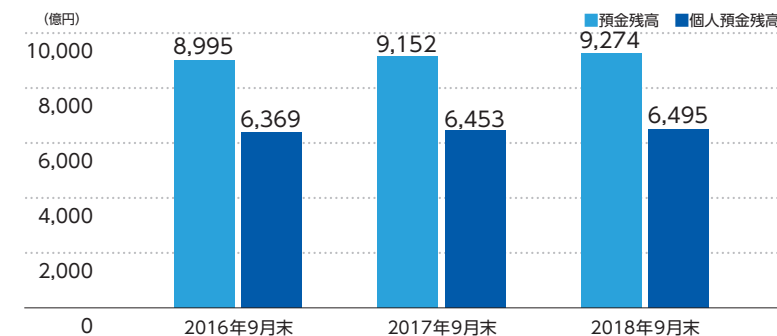
自己資本比率 (単体)



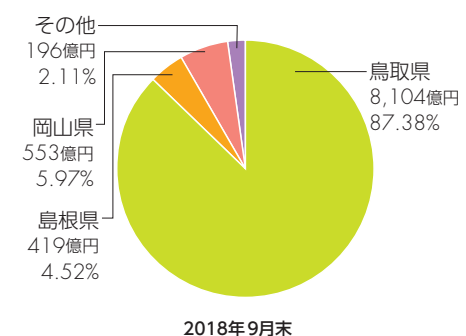
不良債権の状況 (単体)【金融再生法ベース】



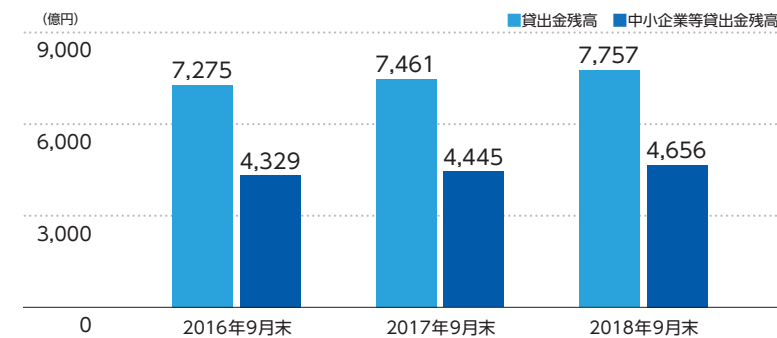
預金残高 (単体)



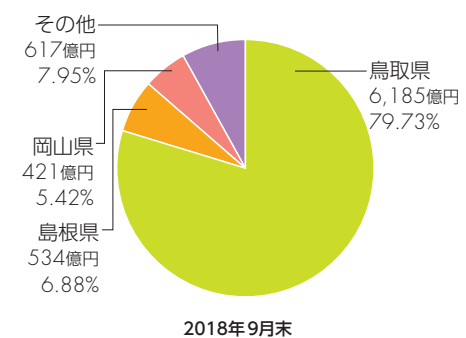
地域別預金残高



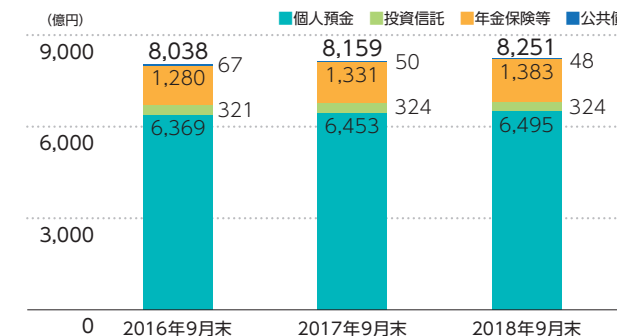
貸出金残高 (単体)



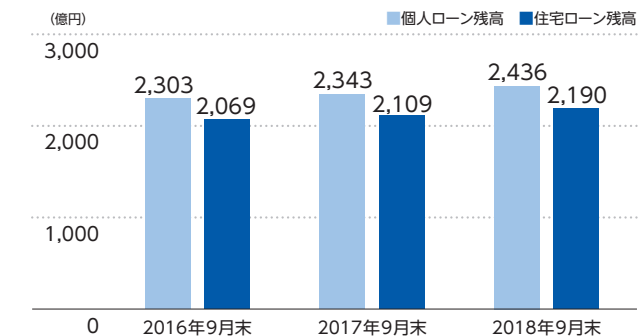
地域別貸出金残高



個人預かり資産残高 (単体)



個人ローン残高 (単体)



中間貸借対照表 (単位：百万円)

科 目	前中間期 (2017年9月30日現在)	当中間期 (2018年9月30日現在)
資産の部		
現金預け金	57,082	63,056
有価証券	152,894	131,743
貸出金	746,171	775,755
外国為替	382	583
その他資産	12,275	4,406
有形固定資産	11,681	11,180
無形固定資産	585	710
前払年金費用	3,447	4,593
繰延税金資産	1,954	1,853
支払承諾見返	7,249	8,789
貸倒引当金	△3,109	△3,063
投資損失引当金	△14	△11
資産の部合計	990,600	999,597
負債の部		
預金	915,209	927,437
コールマネー	59	61
借入金	12,400	8,300
外国為替	6	—
その他負債	4,830	4,323
賞与引当金	455	479
退職給付引当金	1,545	1,607
偶発損失引当金	253	322
睡眠預金払戻損失引当金	39	27
再評価に係る繰延税金負債	631	608
支払承諾	7,249	8,789
負債の部合計	942,680	951,957
純資産の部		
資本金	9,061	9,061
資本剰余金	6,452	6,452
利益剰余金	29,631	30,049
自己株式	△672	△674
株主資本合計	44,472	44,889
その他有価証券評価差額金	2,388	1,734
繰延ヘッジ損益	0	0
土地再評価差額金	1,058	1,015
評価・換算差額等合計	3,447	2,750
純資産の部合計	47,919	47,640
負債及び純資産の部合計	990,600	999,597

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

中間損益計算書 (単位：百万円)

科 目	前中間期 (2017年4月 1日から 2017年9月30日まで)	当中間期 (2018年4月 1日から 2018年9月30日まで)
経常収益	7,688	7,487
経常費用	6,383	6,150
経常利益	1,304	1,336
特別損失	7	127
税引前中間純利益	1,297	1,208
法人税、住民税及び事業税	186	66
法人税等調整額	223	412
法人税等合計	410	478
中間純利益	886	729

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

会社概要 (2018年9月30日現在)

本店所在地	鳥取市永楽温泉町171番地
前身銀行設立	1921年(大正10年)12月15日
創 立	1949年(昭和24年)10月1日
資 本 金	90億円
店 舗 数	66カ店：県内54カ店、県外12カ店 (その他1事務所)
従 業 員 数	747人
総 資 産	9,995億円
預 金	9,274億円
貸 出 金	7,757億円



中間連結貸借対照表 (単位：百万円)

科 目	前中間期 (2017年9月30日現在)	当中間期 (2018年9月30日現在)
資産の部		
現金預け金	57,082	63,056
有価証券	153,087	131,974
貸出金	745,626	775,158
外国為替	382	583
劣後受益権	7,697	—
その他資産	5,906	5,832
有形固定資産	11,681	11,182
無形固定資産	586	711
退職給付に係る資産	6,455	7,331
繰延税金資産	1,035	1,010
支払承諾見返	7,249	8,789
貸倒引当金	△3,187	△3,137
投資損失引当金	△14	△11
資産の部合計	993,590	1,002,480
負債の部		
預金	915,195	927,415
コールマネー及び売渡手形	59	61
借入金	12,400	8,300
外国為替	6	—
その他負債	5,278	4,820
賞与引当金	459	482
退職給付に係る負債	1,685	1,724
偶発損失引当金	253	322
睡眠預金払戻損失引当金	39	27
販売促進引当金	24	23
再評価に係る繰延税金負債	631	608
支払承諾	7,249	8,789
負債の部合計	943,282	952,575
純資産の部		
資本金	9,061	9,061
資本剰余金	6,452	6,452
利益剰余金	29,841	30,271
自己株式	△673	△674
株主資本合計	44,682	45,111
その他有価証券評価差額金	2,483	1,863
繰延ヘッジ損益	0	0
土地再評価差額金	1,058	1,015
退職給付に係る調整累計額	2,000	1,827
その他の包括利益累計額合計	5,542	4,706
非支配株主持分	82	87
純資産の部合計	50,307	49,904
負債及び純資産の部合計	993,590	1,002,480

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

中間連結損益計算書 (単位：百万円)

科 目	前中間期 (2017年4月 1日から 2017年9月30日まで)	当中間期 (2018年4月 1日から 2018年9月30日まで)
経常収益	7,863	7,667
経常費用	6,552	6,323
経常利益	1,310	1,343
特別損失	7	127
税金等調整前中間純利益	1,303	1,215
法人税、住民税及び事業税	187	67
法人税等調整額	224	412
法人税等合計	411	479
中間純利益	891	736
非支配株主に帰属する中間純利益	0	1
親会社株主に帰属する中間純利益	890	734

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

表紙

これなあに？

みまろんせん
三朝温泉 (三朝町)

850年の歴史をもつ鳥取県中部の温泉街

高濃度のラドンを含む世界屈指のラジウム温泉で、「三たび朝を迎えると元気になる」といわれる三朝温泉。趣向を凝らした個性的な内湯巡りや、三徳川の「河原露天風呂」が楽しめる。三朝橋を中心に旅館街が向き合い、昔ながらの湯治場の雰囲気が残る風情豊かな温泉街で、国宝である三徳山・投入堂も近い。

「三朝温泉白狼(はくろう)伝説」によると、源義朝の家来である大久保左馬之祐(おおくぼさまのすけ)という侍が主家再興の祈願のため三徳山を参詣したところ、年老いた白い狼に出会い、一度は矢で射ろうとするも思い留まった。その夜の左馬之祐の夢枕に妙見菩薩が立ち、狼を生かしたお礼に温泉を教えたという。